

農業土木学会論文集の完全版下原稿作成上の留意点

農業土木学会論文集の完全版下原稿を作成する場合に、特に注意して作成していただきたい個所の例をあげてみました。原稿作成の際に参考にしていただき、作成例に則った品質のよい完全版下原稿を作成いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

× 悪い例

1. 図表標題の邦語と英語併記または英語のみの記述で、統一されているか。また英語標題の位置がセンターになっているか。

(不統一の例)

Table 2 主要作物のトウモロコシと小麦に施用される化学肥料
Chemical fertilizers applied for main crops (corn and wheat)

| Crop | Applied chemical fertilizer (kg/ha) | | |
|-------|-------------------------------------|-------------------------------|----------------------------|
| | NH_4HCO_3 | $(\text{NH}_4)_2\text{HPO}_4$ | $\text{CO}(\text{NH}_2)_2$ |
| Corn | 975~1,500 | 150~225 | 150 |
| Wheat | 1,500~1,875 | 187.5~225 | 315~450 |

○ 良い例

1. 邦語と英語を併記する。また英語標題の位置をセンターにする。

Table 2 主要作物のトウモロコシと小麦に施用される化学肥料
Chemical fertilizers applied for main crops (corn and wheat)

| Crop | Applied chemical fertilizer (kg/ha) | | |
|-------|-------------------------------------|-------------------------------|----------------------------|
| | NH_4HCO_3 | $(\text{NH}_4)_2\text{HPO}_4$ | $\text{CO}(\text{NH}_2)_2$ |
| Corn | 975~1,500 | 150~225 | 150 |
| Wheat | 1,500~1,875 | 187.5~225 | 315~450 |

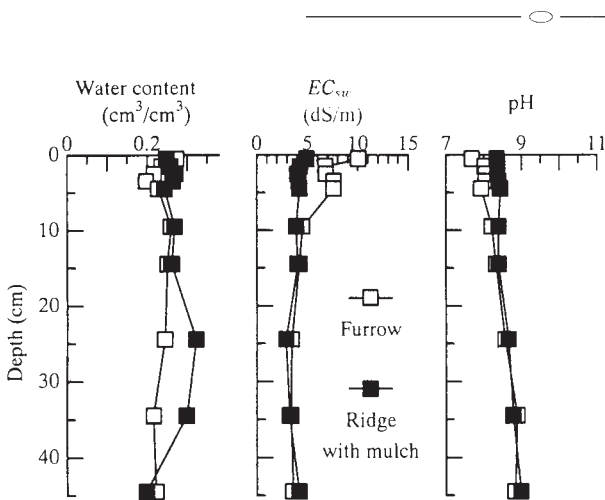


Fig.9 トウモロコシ圃場における土壌の含水率、 EC_{sw} 、pH

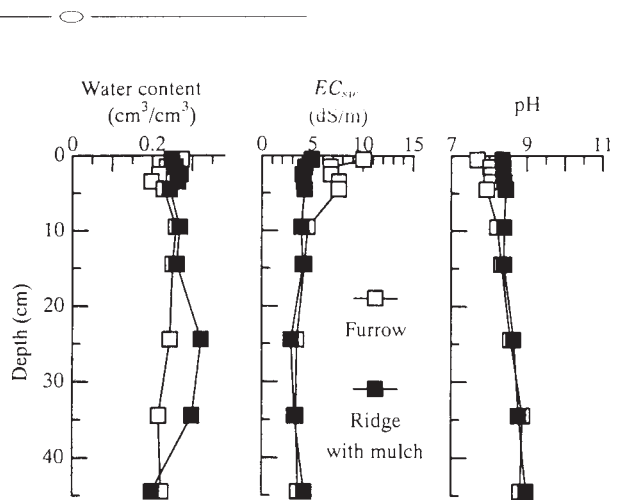


Fig.9 トウモロコシ圃場における土壌の含水率、 EC_{sw} 、pH
Water content, EC_{sw} and pH of soil in the corn field

2. 図中の変数がイタリックになっているか。邦語と英語の標題の間が開きすぎではないか。(変数がローマン体である。また、邦語と英語の標題の間が開きすぎである。)

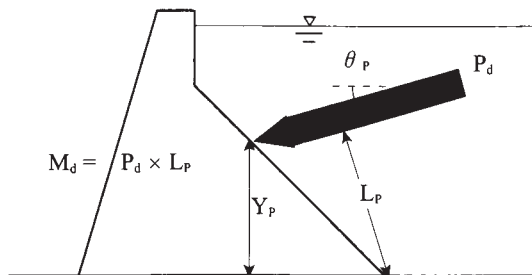


Fig.2 算定対象値 (P_d , M_d , Y_p , θ_p)

Objective value in this paper

2. 変数をイタリック体にする。また邦語と英語の標題の間をつめる。

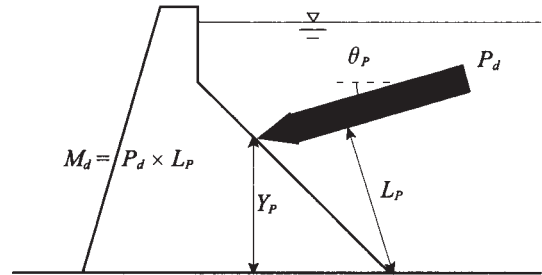


Fig.2 算定対象値 (P_d , M_d , Y_p , θ_p)

Objective value in this paper

× 悪い例

3. 図・表のタイトル，図・表中の文字が8ptか。
(文字サイズ大きい場合)

Table 5 同定された森林内放射量のパラメータ

Identified downward radiant parameters at the 2 types forest site

| 対 象 | P | a | b |
|---------------|-------|-------|-------|
| 落葉樹林内 (1996年) | 0.598 | 0.496 | 0.680 |
| 針葉樹林内 (1994年) | 0.347 | 0.385 | 1.460 |

4. 本文中の変数値や数式がイタリックになっているか。

(変数がローマン体である例)

に C_p ($\text{MJ}\cdot\text{kg}^{-1}\cdot\text{K}^{-1}$) は空気の低圧比熱， I_s ($\text{MJ}\cdot\text{kg}^{-1}$) は蒸発凝結潜熱， ρ_a ($\text{kg}\cdot\text{m}^{-3}$) は空気の密度， T_0 (K) は積雪表層温度， q ， q_0 はそれぞれ比湿，積雪表層の比湿， U ($\text{m}\cdot\text{s}^{-1}$) は風速である。

$$Q_A = C_p \rho_a C_H U (T_a - T_0) \quad (6)$$

$$Q_E = I_s \rho_a C_E U (q - q_0) \quad (7)$$

5. 図・表のレイアウト

(文章と文章の間に図や表が入っている)

像解析によって樹冠に覆われていない白色部分の比率 (天

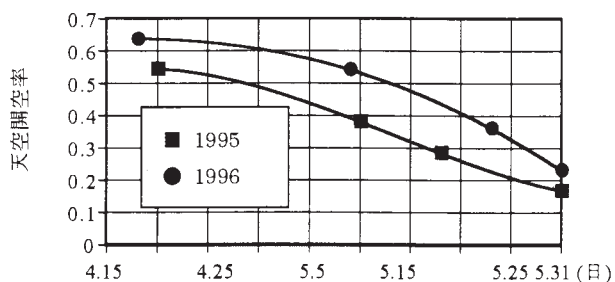


Fig.2 落葉樹林内の天空開空率の変化

Change of the sky view factor at the deciduous forest site

空開空率) を求めた。Fig.2は天空開空率の変化を示したものであり，両年の着葉の進行に差があることが伺える。

目視観察によればFig.2に示した1995年4月21日および1996年4月19日はいずれも未着葉状態であった。このときの天空開空率はそれぞれ0.543，0.636であった。両年の差は倒木の影響などが考えられる。

○ 良い例

作成例に則って文字サイズが8ptになっている場合。

Table 5 同定された森林内放射量のパラメータ

Identified downward radiant parameters at the 2 types forest site

| 対 象 | P | a | b |
|---------------|-------|-------|-------|
| 落葉樹林内 (1996年) | 0.598 | 0.496 | 0.680 |
| 針葉樹林内 (1994年) | 0.347 | 0.385 | 1.460 |

変数をイタリック体にする。

に C_p ($\text{MJ}\cdot\text{kg}^{-1}\cdot\text{K}^{-1}$) は空気の定圧比熱， I_s ($\text{MJ}\cdot\text{kg}^{-1}$) は蒸発凝結潜熱， ρ_a ($\text{kg}\cdot\text{m}^{-3}$) は空気の密度， T_0 (K) は積雪表層温度， q ， q_0 はそれぞれ比湿，積雪表層の比湿， U ($\text{m}\cdot\text{s}^{-1}$) は風速である。

$$Q_A = C_p \rho_a C_H U (T_a - T_0) \quad (6)$$

$$Q_E = I_s \rho_a C_E U (q - q_0) \quad (7)$$

図・表は，天か地にまとめてレイアウトするほうがよい。

像解析によって樹冠に覆われていない白色部分の比率 (天空開空率) を求めた。Fig.2は天空開空率の変化を示したものであり，両年の着葉の進行に差があることが伺える。

目視観察によればFig.2に示した1995年4月21日および1996年4月19日はいずれも未着葉状態であった。このときの天空開空率はそれぞれ0.543，0.636であった。両年の差は倒木の影響などが考えられる。

これ以降の日は着葉進行過程にあったが，同図から着

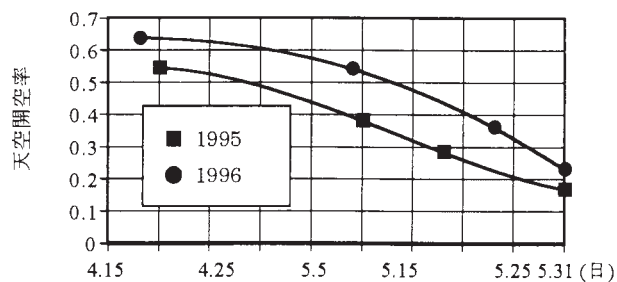


Fig.2 落葉樹林内の天空開空率の変化

Change of the sky view factor at the deciduous forest site